

令和6年度 第1回 飯田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月14日（火） 13時50分から15時00分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 家庭科室
- 3 出席委員 杉山邦司、露木里江子、森峯男、小野逸子、鈴木大輔
- 4 欠席委員 白井竜之、鈴木美枝子、荻野裕貴
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学 校 勝亦英彦（校長）、町田全広（教頭）、小林知美（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小林知美

10 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、大輔委員から杉山委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された杉山委員から、露木委員を副会長に指名する旨の報告があった。

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、杉山委員から大輔委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）飯田小いじめ防止基本方針について
- （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

13 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ ご質問、意見等いかがでしょうか。（大輔委員）
- ・ 学校に入るとあいさつしてくれるから、満足している。子供の声を聞くだけで元気が出るので、これからも応援していきたい。学校の意向・心構えを聞いて、期待したい。（杉山委員）
- ・ 「Well-being」が市の方針と同じで、飯田小もよりよくなっていくようになるとよい。まず危機管理（交通安全・大雨・地震等）を大事にし、安全にこの時代をたくましく育ってほしい。飯田地区は、田舎で田んぼが多い。去年もあったが、大雨が降ると田んぼと道路の境が分からなくなる。水路や排水の様子を親だけでなく、子供達に伝えていかなくてはいけないと思う。昭和19年の地震の時、飯田小の児童が学校で渡り廊下に飛び出して亡くなっている。校内に慰霊碑があり、伝えてほしい。（露木委員）
- ・ 学校経営目標等を分かりやすく説明していただき、こういう風に指導していけば私でもできると思う。この目標でいけば、素晴らしい学校になっていくと思う。私自身、常日頃努力していきたい。（森委員）
- ・ 昨年6月、大雨で畑と道路が一体化してしまった。夜の間だったので、朝には引いて何事もなく済んだが、子供が活動する日中だったら危険。子供に分かってもらえる

よう家庭でも何かの機会で話してほしい。また、市の予算もあるだろうが水路を相対的に見て直していったほしい。学校の基本方針は、分かりやすく説明してもらえて理解できた。(小野委員)

- ・ 市としても、地域の安全を図るために、一気に排水路に流すだけでなく、市の施設に貯めたり染み込ませたりしながら、対策を行っている。金原明善さんがやってくれた治水対策を子供達も知ってほしい。(露木委員)
- ・ 今まで出たご意見を参考に、地域の皆さんと一緒に協力し、学校がよりよくなるようやっていきたいと思う。(大輔委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 飯田小いじめ防止基本方針について

校長から資料に基づき、飯田小のいじめについての実態や「飯田小いじめ防止基本方針」についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 飯田小でもいじめがあることが分かった。(杉山委員)
- ・ 昔のいじめの定義は、繰り返しやられた時だったが、今は1回でも何かやられた、嫌だと感じたらいじめになる。いじめを見逃すのをゼロにし、安心して通える学校にしていきたい。そのため、子供が何かやられた、嫌だと感じたことがあった場合、どんな時でも先生方に協力していじめに対応してもらっている。(校長)
- ・ いじめへの対応では、先生方は大変だということが分かった。(杉山委員)
- ・ 先生方のご負担を少しでも減らしていけるよう、解決を目指していきたい。

(大輔委員)

(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭から資料に基づき、今年度の夢育やらまいか事業について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、第2回会議は、令和6年10月28日(月)13時30分から家庭科室で開催する予定である旨の報告があった。